

平成27年度 仙台大学大学院 授業概要

授業科目名	スポーツ情報戦略演習		担当教員	粟木一博／森本美行			
	Sport Intelligence (S.)						
領域水準コード	D3	単位数	2単位	履修方法	選択	授業の方法	演習
授業の概要							
<p>スポーツにおいて競技力を向上させるためには、関連する多様な情報を収集・取捨選択し、それを有用なものに加工・編集する能力が極めて重要である。特に情報を戦略的に利用することは志向性の高い目標(Target)を持ち、明確な意図(Message)のもとに情報を構成し(Operation)、構築された内容(Contents)を効果的(Effect)に伝達することを指す。本講義ではこのスポーツにおける情報戦略活動の本質を討議するとともに、具体的な体験をする。</p>							
授業の一般目標							
<p>トップコーチやトップアスリートが身につけるべき「information」を「intelligence」に変換する過程を体験し、そこに必要とされる高度な能力を身につけることを目標とする。</p>							
授業の到達目標							
■ 認知的領域	目的及び状況に応じた戦略的かつ効果的な情報活動の在り方について理解する。						
■ 情意的領域	人や組織に対して高い意識付けをもって情報戦略活動を展開することができる。						
■ 技能表現的領域	目的及び状況に応じて適切な方法を用いて情報戦略活動が展開できる。						
授業計画(全体)							
<p>実際のスポーツ場面において取り扱われている情報を題材として取り上げ、情報の収集、加工、編集、配信に至る一連の過程を体験する。さらに、これらの情報を戦略的に活用するために必要となる要素について議論し、受講者自身が関わるスポーツ場面での情報戦略活動を計画し、展開する。</p>							
授業計画(詳細)							
授業テーマとその内容							
<p>本演習では、1) 競技フィールド系、2) 地域スポーツ系、3) スポーツ政策系の三つの活動領域における演習活動を行なう。履修者はそのうち一つの活動領域を選択し、以下のPDCAプロセスにより展開する。</p>							
領域名	A. 競技フィールド系		B. 地域スポーツ系		C. スポーツ政策系		
活動領域	トップスポーツを含む競技現場		タレント発掘・育成事業など、地方自治体等で実施されている各種スポーツ振興プログラム		スポーツ振興計画やスポーツ行政システムに関わる意思決定		
演習プロセス							
1. Plan(計画の策定)	各活動の目的及びその成果を定義し、その実現に向けた情報活動対象(Target)、伝達内容(Message)、情報コンテンツ(Contents)、及び情報運用方策(Operation)を計画する。また評価指標及び方法を事前に規定する。						
2. Do(活動の実施)	履修者がかかわりのある競技フィールド(現場)において情報戦略活動を実施する。		タレント発掘・育成事業における育成プログラムや保護者プログラム、指導者プログラムなどで情報戦略活動を実施する。		スポーツ政策の企画・立案・決定に関わる意思決定の場(会議等)において情報戦略活動を実施する。		
3. Check(アウトプット及び評価)	事前に規定した評価指標及び方法で情報戦略活動を評価し、活動報告書を作成する。また活動を通じて作成されたアウトプット(プロダクト)も併せて提出する。なお活動報告書には、活動記録も添付する。						
4. Act(共有と振り返り)	プレゼンテーションを実施し、演習の成果や課題を共有する。						
授業外学習の指示等							
特になし。							
成績評価方法(方針)							
活動報告書(30%)、それに添付する活動記録/ポートフォリオ(20%)、及びプレゼンテーション(50%)で評価を行なう。							
成績評価方法(詳細)					履修上の注意(受講に当たって学生に望むこと)		
到達目標	認知的領域	情意的領域	技能表現的領域	評価割合(%)			
定期試験(期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
授業外のレポート	◎		○	30			
ポートフォリオ	◎			20			
出席							
その他	◎	◎	◎	50			
関連科目							
教科書	特に指定しない		参考書	授業毎に必要なに応じて参考書の提示/資料の配布を行なう			
連絡先	粟木一博 kz-awaki@sendai-u.ac.jp E棟2階 TEL 0224-55-5079						